

# 令和2年度 自己評価・学校関係者評価 報告書⑥

岐阜県立池田高等学校

学校番号	20
------	----

## I 自己評価

1 学校教育目標	校訓「向学・友愛・錬磨」の下、明るく規律ある学校生活を通して、「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな、心身ともに健全な人間形成を期すとともに、持続可能な社会の発展に貢献できる人間の育成に努める。	
2 評価する領域・分野	<b>◇特別活動</b>	
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本校では、生徒会活動が活発であると評した生徒が80%(H30)→79.1%(R01)→86.2%(R02)と高い水準を維持している。</li> <li>• 文化祭を始めとする各種学校行事は、86.1%の生徒が充実していると評価した。</li> </ul>	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ ホームルーム活動を通じた自主的、実践的態度の育成。</li> <li>◇ ボランティア運動や挨拶運動への参加推進。</li> <li>◇ 部活動の活性化。</li> </ul>	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 企画委員会</li> <li>• 特活指導委員会</li> <li>• 生徒議会、執行部会、常任委員会（生徒）</li> </ul>	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) より質の高い学校行事を目指し、生徒会執行部、及び各種委員会活動の推進 (2) 委員会活動の中身の再編とボランティア会の積極的な募集 (3) 1年生は部活動全員加入 部活動連絡会、伝達表彰等によって各部の活動を周知	(1) 生徒会及び各種委員会への事前・事後指導と、反省会の実施。職員へのアンケートの実施、及び問題点についての解決・対応策の提示。 (2) ボランティア会の登録状況と各種ボランティア活動への参加状況。 (3) 部活動への参加状況と実績。	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>• よりレベルの高い学校行事に向けた生徒会執行部の継続的な協議の実施</li> <li>• 生活委員会がMSリーダーズの活動を兼ね、毎月の保護者と連携した挨拶運動の実施</li> <li>• ボランティア会・家庭クラブ・生徒会執行部連携の各種ボランティアへの積極的参加</li> <li>• 生徒会執行部の各部の視察、及び部活動連絡会での報告</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 昨年度の反省を基に、行事が改善・工夫されているか。</li> <li>② 毎月一定数の生徒が活動に参加できているか。</li> <li>③ 各種ボランティアに多くの生徒が参加できているか。</li> <li>④ 各部が目標を持って取り組んでいるか。</li> </ul>	<p>Ⓐ B C D</p> <p>Ⓐ B C D</p> <p>A B Ⓒ D</p> <p>A Ⓑ C D</p>
11 成果・課題	<p>○新型コロナウイルス感染症防止対策に伴う臨時休業のため、球技大会は中止したが、文化祭・体育大会は内容を変更して実施することができた。</p> <p>○MSリーダーズの活動は生活委員会が中心となって積極的に実施できている。</p> <p>▲感染症防止対策の影響でボランティア活動はほとんど実施できなかった。</p> <p>▲感染症防止対策の影響で部活動の大会が中止になったり、活動が制限されたりした。</p>	
12 来年度に向けての改善方策案		総合評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 感染症予防をした上での生徒の活動の場の確保</li> <li>• 文化祭、体育大会の内容についての再考</li> <li>• 版画大会の在り方についての再考</li> <li>• 部活動参加状況の把握と担任や学年へのフィードバック</li> <li>• 池田町をはじめとする周辺地区の幼稚園・小中学校等、関係機関との連携の推進</li> <li>• 福祉教育や周辺地域のボランティア活動への積極的参加</li> </ul>		A Ⓑ C D

## II 学校関係者評価

実施年月日：令和3年2月2日

### 【意見・要望・評価等】

- 今年度はコロナ禍のために色々な活動が制限されてしまったが、生徒会活動、ボランティア活動等、来年度は良い形で実施できると良いと思う。
- コロナが落ち着いたら、ボランティア等を積極的に行えるようになる。重要な学習機会だと思う。
- コロナ禍で今年度は活動できなかったと思うが、池高生のボランティア活動への積極的な参加は高く評価できる。コロナが終息したらまた進んで若い力で活躍してもらいたい。現在の状況下では、全停止でも致しかたない。学校内に限定し、活動した方が良いと思う。対象を限定しなければ、学校内でもボランティア活動はできると思う。
- 感染対策で人と接する機会がなく、さびしい思いをしている生徒に対し、人とつながる喜びを教えると良いのではないかな。
- 生徒が生徒会活動に対して充実感をもっていることは、学校の活性化につながっていると思う。
- 学校行事や MS リーダーズなどの活動を通して、充実した学校生活を送っていることが分かる。小中学生のよき規範となっており、感謝している。町内で唯一の中学校と高等学校との間で、過度な負担にならないよう配慮しつつ、生徒会活動や部活動を通じた交流、連携を図っていきたい。
- 生徒会活動が活発でとても良いと思う。ボランティア活動の意味を多くの生徒が理解すれば参加者は増すと思う。